

## 死刑に関する意識調査アンケート

(ご作成上のお願い等)

- 1 本アンケートは、今後の弁護士会の活動の上で、参考資料として使用させていただきますので、ご協力いただけますよう、宜しくお願いいたします。
- 2 集会終了後、会場出口の回収用の箱に、アンケートを投函して下さい。

### 第1 はじめに

- 1 年齢はおいくつですか。

10代     20代     30代     40代     50代  
 60代     70代以上

- 2 性別はいずれですか。

男性     女性

第2 死刑制度に関する、以下の1～10の各観点について、あなたのお考えに近いものを、1つご選択下さい。なお、アンケートの最後に自由記載欄がありますので、補足等があればご自由にお書き下さい。

- 1 更正ないし再犯可能性という観点

凶悪な犯罪を犯した者でも、反省の上更生して、二度と犯罪をしないようになると期待できる。  
 凶悪な犯罪を犯す人は生かしておくで、また同じような犯罪を犯す危険がある。  
 更生可能性や再犯可能性といった観点を重視すべきでない。  
 その他・分からない。

- 2 裁判の誤りという観点

裁判に誤りがあったとき、死刑にしてしまうと取り返しがつかない。  
 裁判の誤りの可能性は死刑だけに留まらないから、重視すべきではない。  
 裁判の誤りは極めて限られた例外であるから、重視すべきでない。  
 その他・分からない。

- 3 人道という観点

死刑制度は、刑罰といえども人道に反し、野蛮である。  
 死刑制度は、刑罰であって、人道に反しないし、野蛮でもない。  
 人道的観点は重視すべきでない。  
 その他・分からない。

- 4 国家による殺人という観点

国家であっても人を殺すことは許されない。  
 国家が手続を踏むからこそ、刑罰としての死刑は許される。  
 国家という観点は重視すべきでない。  
 その他・分からない。

5 世界の趨勢という観点

- ヨーロッパ各国等，世界の多くの国が死刑を廃止したことを重視すべきだ。
- アメリカが過半数の州で死刑を存置していることを重視すべきだ。
- 他国の状況は，日本の死刑制度存廃の上で参考にならない
- その他・分からない。

6 世論の動向という観点

- 世論が死刑廃止に慎重な点を重視すべきだ。
- 世論を重視するべきでない。
- その他・分からない。

7 償いという観点

- 凶悪な犯罪は命をもって償うべきだ。
- 凶悪な犯罪を犯しても，殺さずに，長期間，場合によっては一生涯を懸けて，罪の償いをさせるべきだ。
- 償いという観点を重視すべきではない。
- その他・分からない。

8 被害者やその家族の気持ちという観点

- 死刑を廃止すれば，被害を受けた人やその家族の気持ちがおさまらない。
- 加害者を殺さずに，長期間，場合によっては一生涯を懸けて反省させた方が，被害を受けた人やその家族の気持ちに応えるはずだ。
- 被害を受けた人やその家族の気持ちを過度に重視すべきでない。
- その他・分からない。

9 凶悪犯罪の防止という観点

- 死刑を廃止すれば，凶悪な犯罪が増えるはずだ。
- 死刑を廃止し，終身刑制度や無期懲役制度で代えても，凶悪な犯罪の増加は防げるはずだ。
- 刑罰の重さと，凶悪な犯罪が増えるか減るかは余り関係がないはずだ。
- その他・分からない。

10 死刑に代わる制度，死刑の執行という観点

- 死刑は，終身刑や無期懲役をもって代えるべきだ。
- 死刑も，終身刑も不要である。
- 死刑制度は必要だが，執行をすべきでない。
- 死刑制度は必要だし，執行もすべきである。
- その他・分からない

第3 以上の設問を踏まえ、死刑制度の存廃に関し、ご意見を伺います。なお、アンケートの最後の自由記載欄に、補足等があればご自由にお書き下さい。

1 死刑制度に関し、どの意見に賛成ですか。1つを選択して下さい。

- 死刑は即座に廃止すべきである。
- だんだん死刑を減らしてゆき、いずれ全面的に廃止すべきである。
- 現状では死刑を存置すべきだが、状況が変われば、将来的には、死刑を廃止してもよい。
- 将来に渡っても死刑を存置すべきである。
- わからない・一概に言えない。

2 「1」の結論を導く上で、あなたが重視した点を、「第2」の1から10までの視点から選択して下さい（複数選択可）。

- 1（更正ないし再犯可能性）
- 2（裁判の誤り）
- 3（人道に反し野蛮）
- 4（国家による殺人）
- 5（世界の趨勢）
- 6（世論の動向）
- 7（償い）
- 8（被害者やその家族の気持ち）
- 9（凶悪犯罪の防止）
- 10（死刑に代わる制度、死刑の執行）

3 仮に、あなたが「1」の結論と反対の結論を採るとした場合に、無視できないあるいは配慮を要すると考えた点を、「第2」の1から10までの10の視点から選択して下さい（複数選択可）。

- 1（更正ないし再犯可能性）
- 2（裁判の誤り）
- 3（人道に反し野蛮）
- 4（国家による殺人）
- 5（世界の趨勢）
- 6（世論の動向）
- 7（償い）
- 8（被害者やその家族の気持ち）
- 9（凶悪犯罪の防止）
- 10（死刑に代わる制度、死刑の執行）

第4 補足意見その他、自由なご意見をお聞かせ下さい。

（以下自由記載欄。必要があれば裏面もお使い下さい。）